

**2006年度**

# 環境配慮へのとりくみ紹介



# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## = CONTENTS =



### ■ 表紙の写真

北海道 下川町 FSC認証林

私たちの生協食堂の割箸はここからやっ  
てきます。

下川町は小さな「まち」ですが、過疎化  
が進む中「最大の資源である森林を活用し  
た地域づくりを進めることが重要である」と  
の認識に立ち、豊かな森林資源を持続的計  
画的に維持管理されたFSC(国際的な森林  
管理協議会)認証林を中心に「産業クラス  
ターによるまちづくり」を進めています。

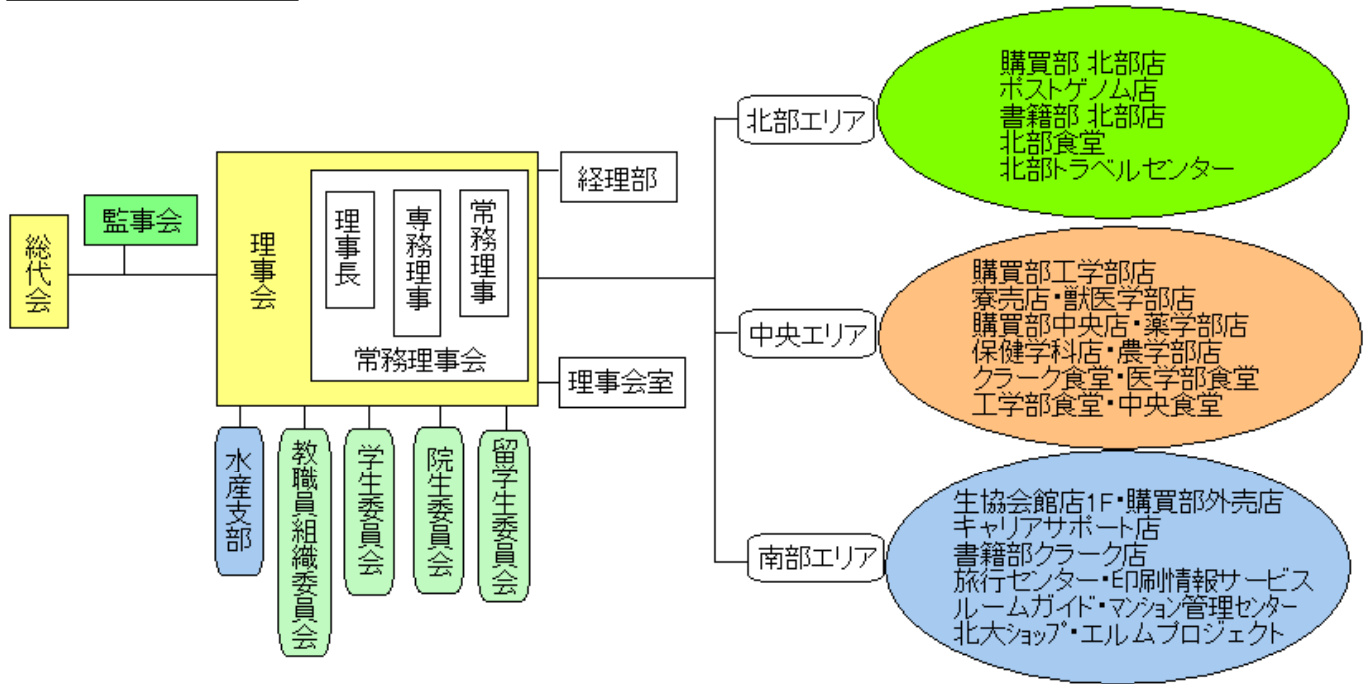
FSCに認証された森林から「製材工場・製  
管工場・集成材工場・木炭工場」などが稼働  
し持続的な産業育成に取り組んでいます。ま  
た、未利用廃材などを利用した木質バイオ  
マスボイラーの導入による二酸化炭素の排  
出抑制にも取り組むなど、今後の持続的な  
社会発展への一つの方向性を示すとりくみ  
であるといえます。

- 1 CONTENTS
- 2 北大生協の事業概要
- 3 専務理事あいさつ
- 4 環 境 方 針
- 5 環 境 実 施 体 制
- 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介
- 6 情 報 公 開
- 7 環 境 教 育
- 8 省エネルギー  
    <電気>
- 9 省エネルギー  
    <ガス>
- 10 省 資 源  
    <水・紙・包装資材>
- 11 資源の循環利用  
    <紙・ビン・缶・ペット>
- 12 資源の循環利用  
    <割 箸>
- 13 資源の循環利用  
    <食堂廃油・他>
- 14 グリーン適合商品の優先供給
- 15 排 水 の 管 理
- 16 放置自転車対策
- 17 燃えるごみの分別状況
- 18 2006年度実施状況と課題

# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## = 北大生協の事業概要 =

北大生協運営組織図



組合員概況表

(2007年2月28日現在)

構成区分	組合員数
<input type="checkbox"/> 学部 学生	13,599 名
<input type="checkbox"/> 大学院 生	6,426 名
<input type="checkbox"/> 教 職 員	7,376 名
<input type="checkbox"/> 生 協 職 員	674 名
<input type="checkbox"/> そ の 他	1,118 名
<b>合計 29,193 名</b>	



### 主要数値

●供給高は2003年度がピークですが、その後は供給高が伸びなくても利益を確保できる構造になってきています。

#### ■主要数値

項目	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
組合員数	27,452	28,011	28,590	29,193
出資金総額(千円)	438,335	441,915	447,214	452,790
総供給高(千円)	7,042,732	6,597,112	6,530,183	6,504,334
経常剰余(千円)	▲ 25,231	11,437	32,366	25,342
正規職員数	77	65	63	61
定時職員数	188	191	195	208

#### ■部門別供給高

部門	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
購 買 (千円)	2,806,833	2,471,596	2,580,945	2,582,035
書 籍 (千円)	1,073,447	1,012,672	994,360	991,757
食 堂 (千円)	736,370	693,200	659,085	770,083
旅 行 (千円)	2,100,923	2,111,659	2,012,828	1,875,766
その他サービス(千円)	325,159	307,985	282,965	284,693
合 計	7,042,732	6,597,112	6,530,183	6,504,334





## 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

### = 専務理事挨拶 =

ありのままをご報告します。一步ずつ前にすすみます。

昨年につき、今年も「2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介」をまとめました。

2005年9月に北海道大学が環境方針を定めたことに触発され、北大生協は2005年10月に「北大生協環境方針」を決め、「北海道大学の環境方針、環境関連の法律・・・を遵守します。」・「電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。」などの内容を決めました。

これを決めてから1年半、「道内産の森林育成につながる割り箸の採用（06年10月から）」・「食堂から出る廃油の再資源化（06年11月から）」・「大学内の放置自転車の再資源化（06年11月から）」など、話題になりやすい前進がいくつかありました。

大学祭でのゴミ分別、教職員委員会による廃棄物関連の工場見学などの学生・院生・教職員によるさまざまな環境活動とともに、これらは北大生協の得意としてきた活動スタイルです。来年もこうした事例を一つでも二つでも作り、それを継続していけるようにしたいと思います。

また、「北大生協環境方針」をつくったことで、生協の営業活動に伴うエネルギー消費・廃棄物等についてちゃんと関心を払うようになり、毎日の営業活動のなかでの不十分さをはっきり自覚しました。「生協さんは以前から環境問題に熱心だから、環境マネジメントシステムについてもしっかりやっってるんでしょう。」とお声をかけていただくことがあります。しかし、これを読んでいただくと一目瞭然ですが、基本的なことが満足にできていません。たとえば、電気・水などの使用量を正確にはまとめられていませんし、前の年度のデータがないため前年比較ができていない項目がたくさんあります。コピー用紙の使用量くらい集計していただきたいところですが、このデータも載っていません。食堂からの排水管理の実態は、かなり問題が大きいことにも気づきました。

正直に申し上げますと、「ありのままに全部書いていいのかわ」と少々迷いましたが、ありのままの姿をお知らせし、ご批判・ご指導もいただきながら、毎年一步ずつ前進していくしかないとお話し合いました。

たとえば、排水の実態が基準値（法で決められているわけではないが、私たちが目標にしようとした水準）を超える場所があれば、対策と検査の頻度を高め、新しい解決策にも挑戦しようと思います。お金がかかることも多くその捻出は容易ではありませんが、できるだけ安価であるように努めつつ、地球環境への負荷を少しでも減らせるよう努力いたします。

1年後に、「確実に一步前進できた」とご報告できるようがんばります。忌憚のないご意見等をお寄せください。



専務理事 柳田 章

2007年6月26日

## 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

### = 環境方針 =

●北大生協は 2005 年 10 月 24 日の北大生協第 5 回理事会において下記の「北大生協環境方針」を決定しました。北大生協は「大学とその構成員への貢献をとおして大学を発展させる立場」、「北海道大学の福利厚生を担う構内事業者としての立場」、「北海道大学の環境方針及び環境マネジメント実施体制を尊重し環境への負荷低減に努める立場」からこのとりくみ紹介を公開いたします。

#### 北大生協環境方針

●私たち北海道大学生協同組合は、環境保全は私たちの行なう様々な活動の基礎であるとの認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的かつ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定します。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防をはかり、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めていきます。

- 1)北海道大学の環境方針、環境関連の法律、規制、条例及びその他受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- 2)北海道大学の環境マネジメント実施体制に積極的に参画します。それらの活動に参加する組合員の活動を支援します。
- 3)生協施設における電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。
- 4)環境負荷に配慮した商品の開発・改善・普及をすすめます。また「グリーン購入」の、取り組みを推進します。
- 5)学生・院生の環境配慮に関する活動の場をたくさん作り、北大構成員自身による環境活動を広げます。

●この環境方針を内外に公開するとともに、環境活動への取り組み状況について定期的に公表します。また方針を具体化していくうえで役職員(理事・監事・組織委員・生協職員)の日々の実践の積み重ねを大切に、全役職員への教育・学習を積極的に行い、さらに学生・教職員を対象とする啓蒙活動と諸活動への参加の呼びかけを行って、環境方針の理解と環境意識の向上を図ります。

2005 年 10 月 24 日  
北海道大学生協同組合  
第 5 回理事会

#### ≪北大生協の 3 つの使命≫

- 1.北大生協は、北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービスで貢献します。
- 2.北大生協は、学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・共同の促進に寄与します。
- 3.北大生協は、持続的発展可能な地域社会・国際社会の実現に向けて力を尽くします。

●北大生協は自らに課した上記「3 つの使命」を基本とし環境配慮へのとりくみを展開します。

# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## = 環境実施体制 =

● 北大生協の環境実施体制は独立した体制ではありませんが、北海道大学の環境配慮のとりくみを尊重し北海道大学の環境実施体制と情報交換・報告を密に取りながら実施しております。

### ■ 環境活動監査

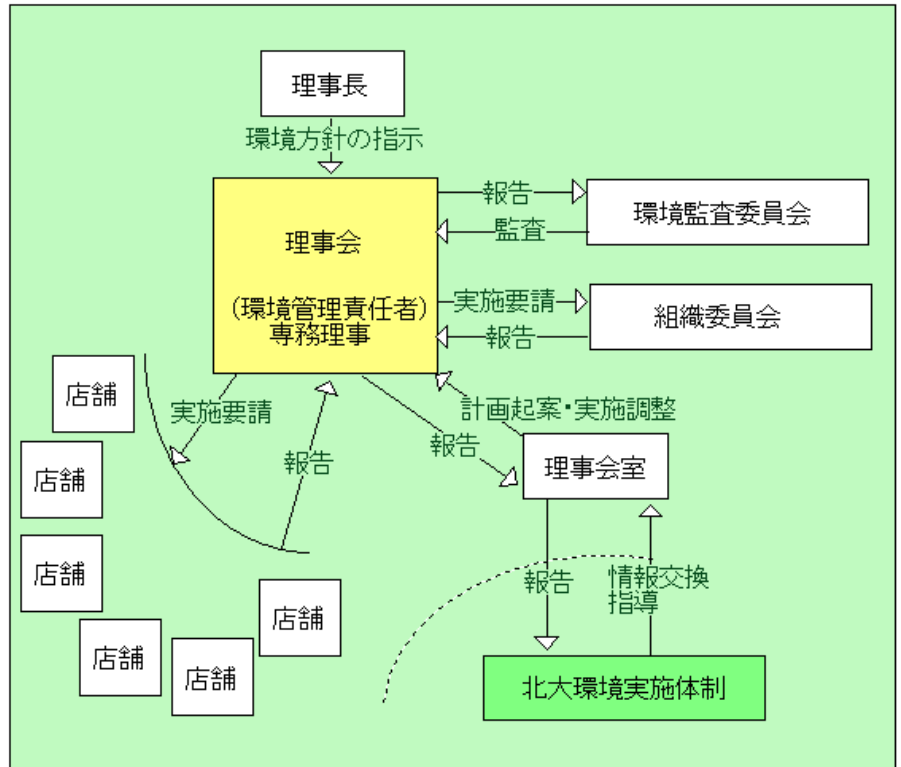
4月23日に環境監査委員会を開き、環境データととりくみ状況を確認し合い2006年報告と2007年度の課題を整理しました。  
(P18)

#### <委員>

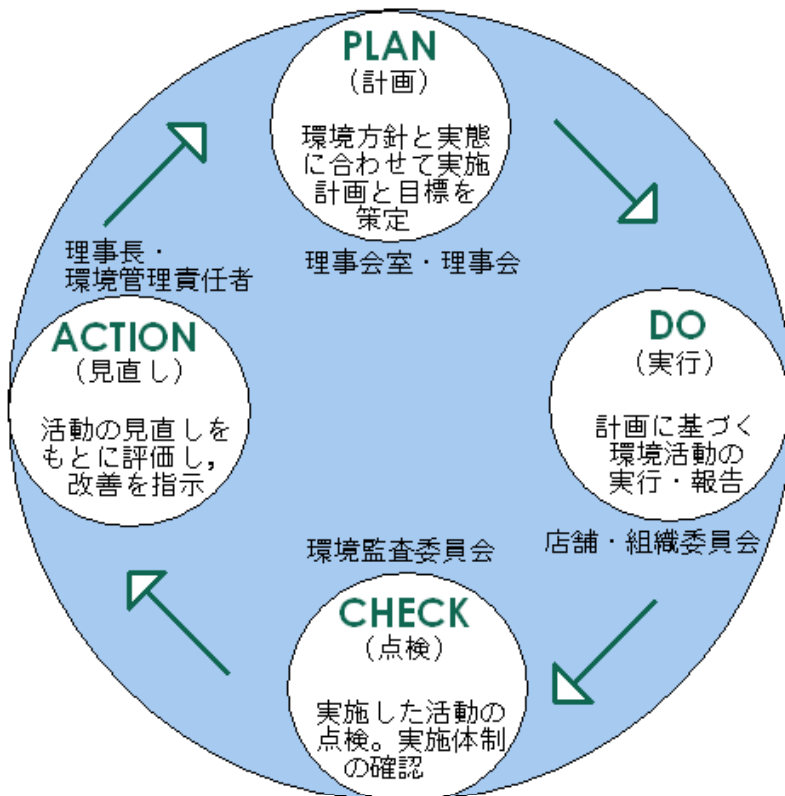
太田幸雄(工学部教員・生協理事)  
猿橋キヨミ(大学職員・生協理事)  
伊藤康子(大学院生・生協理事)

#### <事務局>

柳田 章(専務理事)  
野崎知司(生協職員)



### ■ とりくみの実施サイクル



● 環境マネジメントの実施サイクルは生協の事業活動のサイクルと同じでP-D-C-Aサイクルの手法を取り入れます。



▲ 北大のクラーク像



# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

= 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介（情報公開） =



▲北大生協ホームページトップ

●北大生協ホームページ・トップから環境ページへの誘導を分かり易くしました。

●環境のページには、北大生協が取り組んでいる環境活動を視覚的に分かり易いバナーで表示しています。



▲環境ページ

●「2005年度 環境配慮へのとりくみ紹介」を pdf 化しどなたでも参照いただけるように、ホームページからダウンロードできるようにしました。



▲北大の環境報告書

●北海道大学の「環境報告書」に構内事業者（北大生協）として活動が紹介されました。  
（食堂の排水・グリーン購入推進の援助・ゴミ分別「ごみナビゲーション」・エコツアーが紹介されました）

●北海道大学の環境報告書の中には「第1回北海道大学ステークホルダーミーティング」の開催状況についてふれられております。

北大生協からは 柳田 専務理事が出席しております。



▲生協会館屋上から農学部を眺望

# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

= 2006 年度 環境配慮へのとりくみ紹介（環境教育） =

## ■ ごみナビゲーション



●大学祭でのゴミ分別を訴える「ごみナビゲーション」活動を 2005 年も開催しました。

生協が大学祭で始めたゴミ分別の普及拡大を目指したとりくみは共感の輪が広がり、大学祭実行委員会でも取り入れられ、広いキャンパスのあちこちで「ゴミナビ」が展開されました。



▲大学祭でのゴミナビ風景

●もちろん「夏祭り」でもゴミナビは実施されました。

## ■ ドイツ環境保全展の継続開催

●教職員組織委員会の主催で継続開催しております。  
今年で 2 年目になりますが、パネルを交換して実施しました。

## ■ 再資源化工場見学～報告

●回収した資源化ごみと食堂の廃油の行方を追って再資源化工場の見学を行い、機関紙「きぼう虹」で報告を行いました。



▲ 加熱・加圧され出てきたところ

### < 固形燃料 RDF >

財団法人 札幌市環境事業公社  
(札幌市北区篠路町福移 153)

篠路清掃工場敷地内に資源化工場として燃料工場とチップ工場がある。

ここの燃料化工場は事業所系のゴミを使用。木くず、紙くず、廃プラスチックの 3 つのラインを利用。それぞれにごみを粉碎してそれぞれ約 40%、50%、10%の割合で混ぜて固形化している。固形練料は思ったより大きくて直径 40 ミリ、長さ 40-50 ミリ。



### BDF (バイオディーゼル燃料)

有限会社どりーむ (札幌市東区東雁来 5 条 1 丁目 3-40)



環境機器・設備提案・施工などの業務を展開する中、2005 年 10 月より購入した 1 号機 (100ℓ用) から BDF 事業を開始。

現在は自社開発の 2 号機 (100ℓ用)、大型機 (400ℓ用) を稼働中。機械は油を約 70 度に温めて攪拌して、グリセリンなどの不要物を抽出。約 8 時間の工程で最大 3 工程が可能。現在は生協や居酒屋などから回収した油を



# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

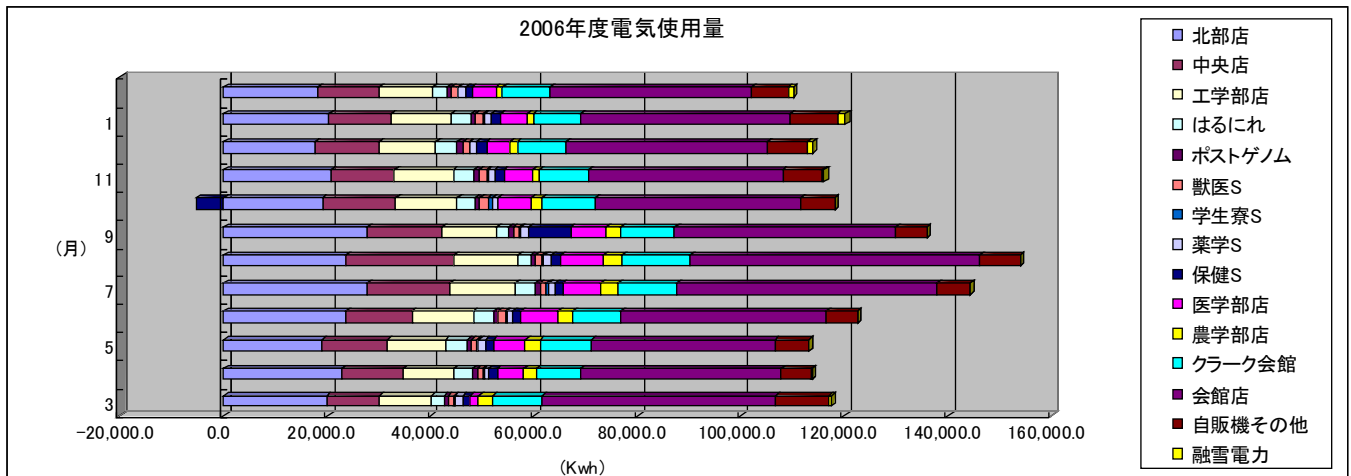
## = 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介（省エネルギー） =

### ■ 電気使用量

生協全店舗の電気使用量は北海道電力から直接請求の来る生協会館分と北海道大学から請求が来る分になります。大学からの請求には店舗での使用と学内自動販売機、コピー機など別メーター管理されたものが含まれます。（いろいろ調整いただき本来よりも少ないと思われませんが、量的な把握が難しいのが実態です）

※電気使用量の把握は2006年度から始めました。

※会館店以外の電気使用量（kwh）は大学からの電気料金請求から妥当な数量を割り出しました。（基本料金が不明のため請求金額を¥18/kwhで算出：会館店の基本料金込みの単価に合わせた）



### ● 自動販売機の節電

学内設置の自動販売機は主要3社で114台。全て省エネタイプではありますが、消費電力は毎年改善された機械が開発されていますので、設置年によって年間の消費電力量には差が出ます。

新規は当然ですが、古い機種は取引業者と稼働実態をすりあわせた上で入替を御願ひしています。

● 2006年度中は56台を入替又は部品追加により省エネ機能を向上させております。

2007年度の向上予定は15台を予定しております。

CocaCola	型式	台数	KWh/年	改善率 前年対比	対1998年 改善率
2006	缶HOT&COLD機30台	30	1,645	20.6%	38.4%
2003	缶HOT&COLD機20台	20	2,071	22.4%	22.4%
1998	缶HOT&COLD機30台	30	2,670	45.8%	
1992	缶HOT&COLD機20台	20	4,928		

KIRIN	型式	台数	KWh/年	改善率 前年対比	対1998年 改善率
2005	缶HOT&COLD機30台	30	1,720	3.9%	50.0%
2004	缶HOT&COLD機20台	30	1,790	40.2%	47.9%
1999	缶HOT&COLD機30台	30	2,993	12.9%	12.9%
1998	缶HOT&COLD機20台	30	3,437		

APEX缶 自販機	型式	台数	全省エネ時		
			KWh/年 (50/60Hz)	対前年 改善率	対2000年 改善率
2006	缶HOT&COLD機30台	30	1,750	0.0%	36.2%
2005	缶HOT&COLD機30台	30	1,750	8.9%	36.2%
2004	缶HOT&COLD機30台	30	1,922	12.5%	29.9%
2003	缶HOT&COLD機30台	30	2,196	12.7%	19.9%
2002	缶HOT&COLD機30台	30	2,515	5.2%	8.2%
2001	缶HOT&COLD機30台	30	2,653	3.2%	3.2%
2000	缶HOT&COLD機30台	30	2,741		

取引先	主な商品	旧タイプ 省エネ	最新 省エネ機種	合計台数	2007年度更新 予定台数
APEX	主にカップ自販機	30	31	61	0*
ココロラ	缶・ペット/Hot&Cold	4	13	17	2
KIRIN	缶・ペット/Hot&Cold	13	23	36	13
	合計	47	67	114	15

# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## ● 生協会館店の電気使用量推移

年間の使用量は増加しているが、秋から冬にかけては節約方向にあります。夏場は気温変化により左右されます。2004年は最高気温は33℃と高いですが7-8月の夏日は34日、同様に2005年は40日、2006年は46日でした。2006年は最高気温が32℃で8月の夏日は月末2日間以外の28日連続となり、9月も気温が高く暑さが続いたのが特徴です。この夏場にエアコンの稼働が多くなった事が電力使用量の増加となっております。

● 2006年12月から「業務用ウィークエンド電力」に契約変更し料金的には2%程度の節約となりました。

### ● 年間使用量

2004年度 467,888kwh  
2005年度 456,510kwh  
2006年度 503,559kwh

### ● 7-8月夏日（連続）

2004：34日（12日間）  
2005：40日（13日間）  
2006：46日（28日間）

## ■ ガス使用量

ガスの供給元は北海道ガスと北海道大学となります。

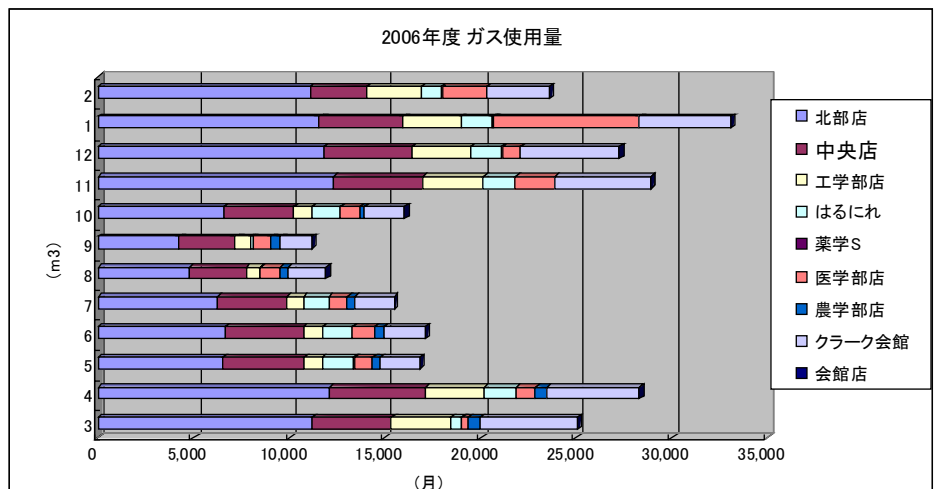
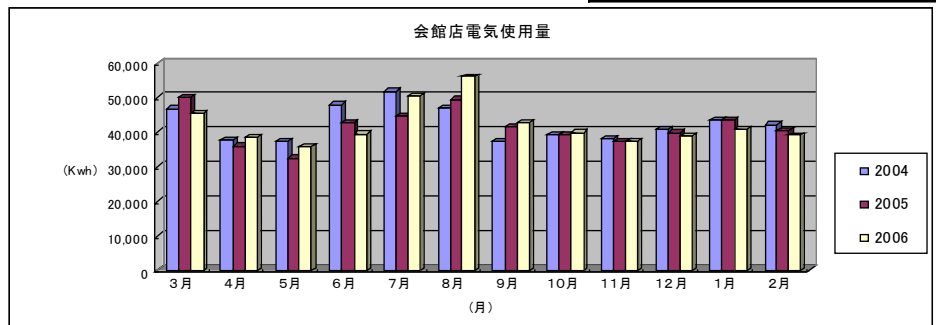
施設によってどちらか一方または両方からの供給となっております。

※工学部食堂はプロパンガスを使用しています。

※北海道大学から供給を受けている分は給湯料+暖房費をガス換算して都市ガスと合わせて算出されております。

● 冬期間は調理用のガス使用量と同じ程度が暖房に使われることがわかります。

● 2006年度は医学部店新装開店、中央店土日営業開始、ミールカードの普及などで食堂の利用客数が前年に比べて約43%伸長しており、（食堂全体で客数15%伸長）その分ガスの消費量も増加しています。



	ガス	給湯	暖房
北都店	北ガス	北ガス	北ガス
中央店	北ガス	北ガス	北ガス
工学部店	プロパン	大学	大学
はるにれ	北ガス	大学	大学
薬学S			大学
医学部店	大学	大学	大学
農学部店	北ガス	大学	大学
クラーク会館	北ガス	北ガス	北ガス
会館店	北ガス	北ガス	

**北ガス** ※農学部食堂は2006年11月から施設改装のため休業しております。

**大学** ※2005年までは請求金額しか記録にないため、経年変化を見るのは次年度からとなります。

**プロパン**



# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介



## ガソリン・軽油・重油使用量

ガソリン	軽油	重油
8,411.18L	3,442.75L	25,000.00L

- ガソリン・軽油は営業車輛に使用し、重油は会館店の暖房ボイラー用に使用しています。  
※軽油に代わる BDF は保管場所の関係で導入しておりません
- 営業車輛は全部で 40 台になります。

## = 2006 年度 環境配慮へのとりくみ紹介 (省資源) =

## 上水道使用量

	水道種類
北部食堂	市水/洗浄は地下水
はるにれ食堂	市水
中央食堂	市水
工学部食堂	地下水
医学部食堂	市水
農学部食堂	市水
クラーク食堂	市水
会館店	市水

※市水 = 札幌市上水道

- 札幌市の上水道と地下水が混在しています。

会館店以外は大学からの費用案分で請求いただいておりますので店舗別の使用量把握ができておりません。



▲ 5月 中央ローンの桜

## 紙製品の節約

- 経費使用の上質紙などの使用量については量的な把握ができておりません。
- 会議資料の両面印刷を徹底しております。
- 内部文書・資料送付などは古封筒を利用しております。
- インクジェットプリンタへは裏紙を使用しています。

## レジ袋使用量

※ 1月～11月仕入実績

	枚数	単位重量g	総重量Kg
レジ袋小	582,000	2	1,164.0
弁当袋小	22,200	3	66.6
レジ袋中	220,000	4	880.0
弁当袋大	27,300	4	109.2
レジ袋大	64,000	7	448.0
	<b>915,500</b>		<b>2,667.8</b>
	石油換算		6.1 KI

- レジ袋は全店で年間約 100 万枚程度使用されています。

- 1-2 点程度の飲料・食品などの買いもの時にはレジで「このままでよろしいですか？」と声をかける程度で、レジ袋削減についての具体的な方針はまだ持っておりません。



▲紅葉のひょうたん池

レジ袋削減については 2007 年度の課題となります。

# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## = 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介（資源の循環利用） =

### ■ 紙の再資源化

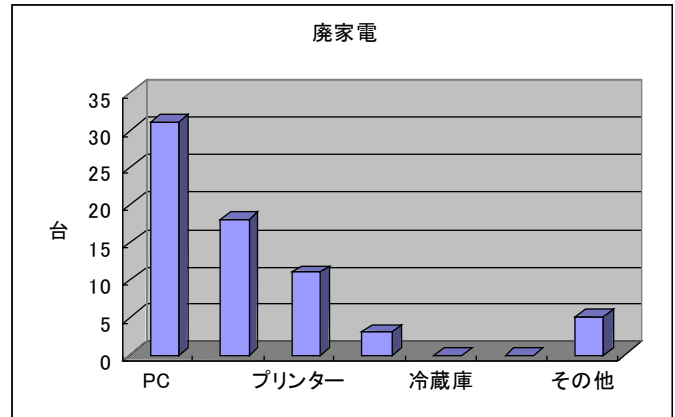
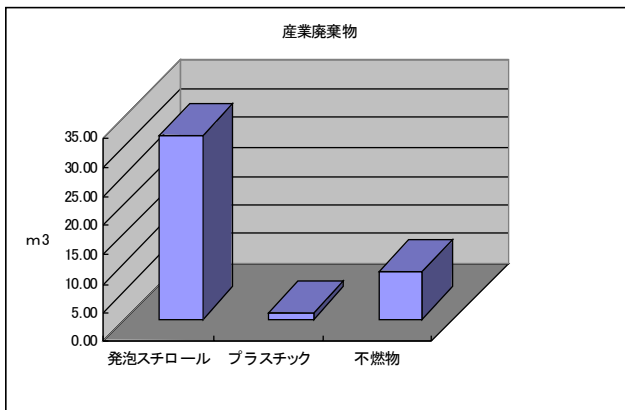
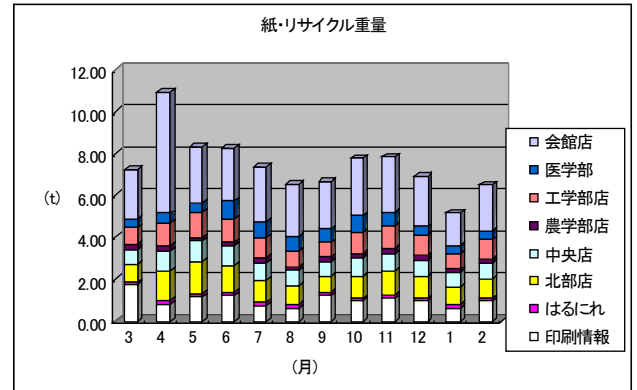
回収し再資源化する紙は「ダンボール」が一番多く次いで「上質紙」「雑誌カタログ」となってます。(年間 57t)



▲ 4/2 新入生向け配達後のごみの山

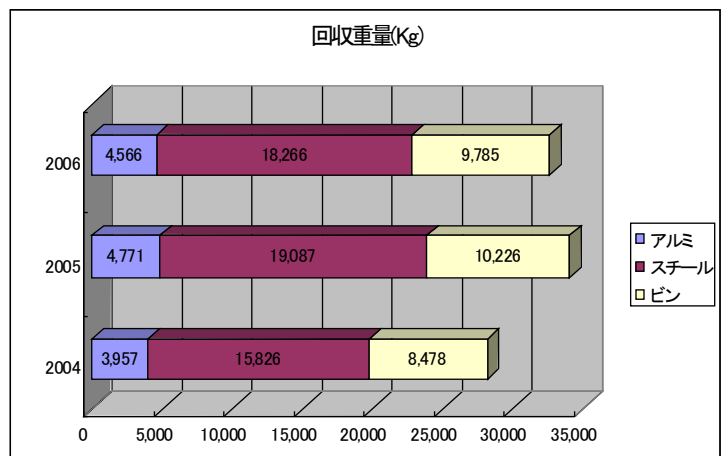
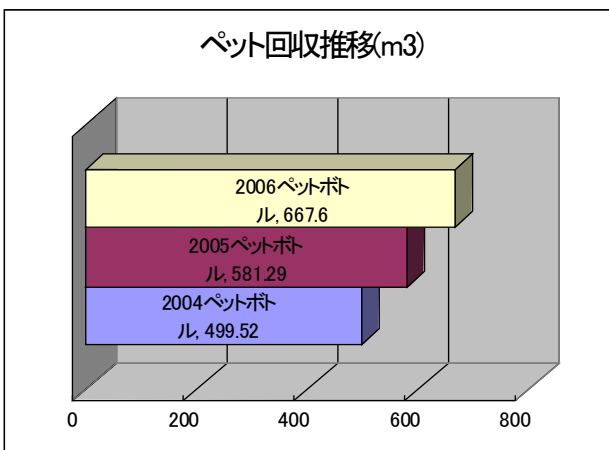
### ■ 産業廃棄物の回収量

圧倒的に多いのは発泡スチロール。とりわけ年度末の校費納品と新入生の引っ越しで3-4月が多くなっています。



### ■ ビン・缶・ペットの再資源化

- ビン・缶・ペットの回収は回収業者が自動選別するため回収ボックスを分けてはいません。
- ビン・缶・ペットの回収はずいぶん前から実施されている関係もあり、他のゴミ箱に捨てられたり路上や廊下に放置されることはほとんど見受けられません。
- 回収の推移はのびておりますが、素材ごとの割合はアルミ：スチール：ビン = 30：56：14 で変化はありません。

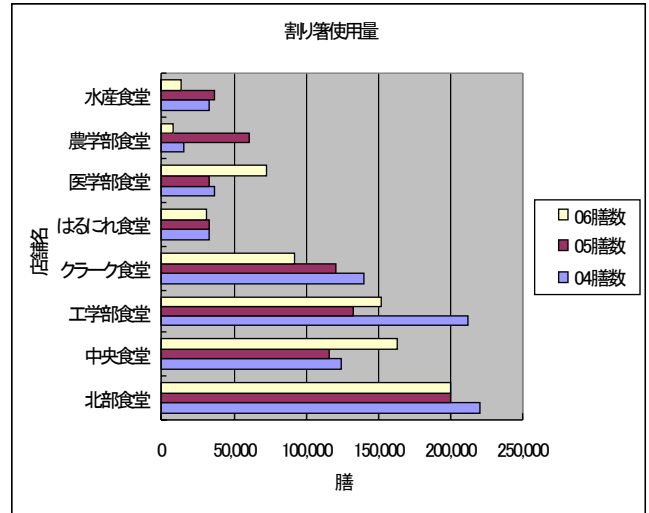
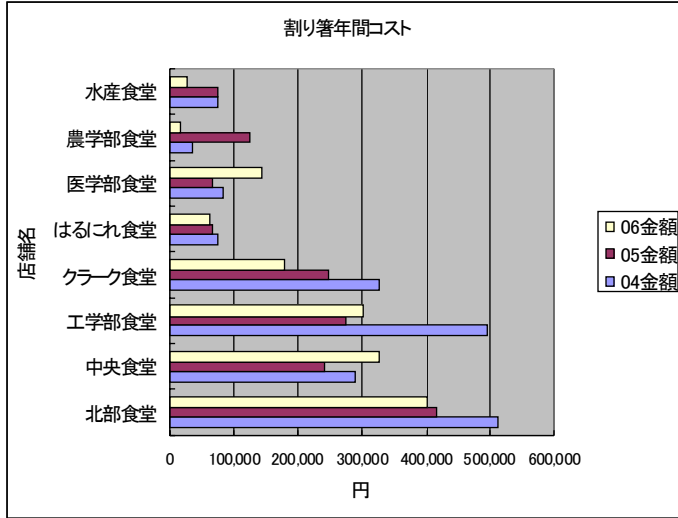




# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介



## ■ 国産間伐材「割 箸」の利用



● 2002年から中国産に代わって国産間伐材の「樹恩割り箸」に変更してきましたが、道内産の白樺間伐材を使った割り箸に変更しました。

● 全体として使用量（2005：728千膳/2006：732千膳）は増加していますが、費用的には節約となりました。

● 道内産（下川）FSC認証材使用の割り箸に変更することにより、四国からの輸送に関わるエネルギーを節約することになりました。

● 北大生協がFSC認証割り箸に変更したことにより、樹恩割り箸を他の大学生協で使えるようになり国産間伐材割り箸利用の拡大につながりました。（北海道内の大学生協も中国産からFSC認証割り箸に変更するところが増えてきています）

● 多少費用が高くても森林の維持管理に貢献できるのであれば資源再生の立場で仲間を増やすよう普及に努めたいと思っております。



▲ 配達弁当・オードブル用の完封箸

▲ 食堂の割り箸

### ★ これまでの経緯

1. 北大生協は2002年から森林育成につながる国産間伐材使用の「樹恩割り箸」を食堂で利用してきました。仕入れ価格は中国産の割り箸の2倍以上ですが、「それでも森林育成につなげて地球環境にやさしい選択をしよう」と決意しました。

2. 地球温暖化の問題では森林の育成がクローズアップされ、国産間伐材使用の「樹恩割り箸」は全国的にも注目を集めるに至っています。

しかしながら、遠く徳島県から輸送エネルギーを使って北海道で使用しなくても、北海道にもよく管理された森と割り箸工場があることがわかりこれまでのとりくみを発展させる意味で「樹恩割り箸」から「FSC認証元禄箸」への変更を2006年9月11日の北大生協第4回理事会で決定いたしました。

※ FSC 認証

(FSC 日本推進会議設立準備局／特定非営利活動法人 日本森林管理協議会)  
<http://www.forsta.or.jp/index.htm> を参照下さい。



# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## ■ 食堂廃油のBDF化

BDF = Bio Diesel Fuel (植物由来油を使った軽油の代替燃料)

- 食堂での揚げ物に使った廃油は固化剤を投入し「ごみ」として廃棄していましたが、2006年11月から廃油を軽油の代替燃料に再生する業者に引き取っていただく契約を行いました。
- 資源の再利用、ごみの削減に結びつきました。



★バイオディーゼル燃料には、次のような特長があります

- ・ CO2 排出がゼロカウント～地球温暖化防止効果（原料が植物のため）
- ・ 黒煙（NOx）排出量は約 1 / 1 0 以下に低減
- ・ 硫酸化物＝酸性雨の原因排出量は約 1 / 1 0 0 以下に低減
- ・ 植物由来の原料のため、脱化石燃料による省エネルギー実現
- ・ 廃油ゴミの減量化

## ■ 牛乳パックの回収

	Kg	枚
2005	281	8,510
2006	311	9,420

・ 2005 年度の環境活動報告を公開したためなのか、回収量が増えてきています。  
(回収場所は北部厚生会館 2F の階段踊り場です)

## ■ 組合員の環境活動支援

### ● 大学リユース市協議会への支援

<活動紹介>

・ 第 3 回サッポロカレッジリユースフェア の開催  
主催：大学リユース市協議会（北大生を中心に）

開催内容：卒業生の不要な家具家電を引き取り、新入生などに安価で提供する。環境団体の活動紹介。

活動内容：（告知）ポスターの学内外・生協内掲示・食堂三角 POP・北大生協 TOP ページ「環境」からのリンクで回収依頼を受ける。

（報道）STV・HBC 北海道新聞・読売新聞・朝日新聞

（回収）3 月から数度にわたり回収日を決めて回収（家電・家具約 300 点）

（提供）4/1(日)11:00～16:00 札幌市リサイクルプラザ 二十四軒サテライトにて提供

（来場者数）約 250 人超

※ 300 点のリユース品が残ったらどうしようという不安もありましたが、会場前から 200 人ほどが並び全て引き取られました。

生協の支援内容：活動へのアドバイス・広報支援・車輛無料貸出

- 次年度に向けて活動が継続できるように必要な援助を継続していきます。





# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

= 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介 (グリーン適合商品の優先供給) =

- グリーン適合商品を優先的に提案しています。

Stationery

Stationery 2006

グリーン購入法  
適合

A4ページプリンタ  
コストパフォーマンスに優れたA4モデル!  
2012

沖データ  
C5800n

メーカー希望価格(税込)104,790円

●サイズ幅435mm×奥行561mm×高さ340mm ●重量25.7kg ●解像度1200×600dpi ●NW標準、Mac OS9～X対応 ●用紙A4～ハガキ対応 ●設置費等4,2万円 ●購入・設置費別注

D4330649 Win/Mac	税込価格 <b>79,800円</b>	本体価格76,000円 消費税3,800円
201 Win/Mac	税込価格 <b>114,000円</b>	本体価格108,572円 消費税5,428円

・大学生協で作っている商品カタログにはグリーン適合商品を優先的に取り上げております。(カタログショッピング・COOP文具カタログ・研究室ガイドなど)

・大学のグリーン優先購入のお手伝いになるように適合商品には「グリーン購入法適合」マークを付けております。

・文具においては棚札やレシートに適合商品マークを表示させています。

※店頭での表示をもっと分かり易く表現するためにその方法を議論してきましたが、残念ながらまだ結論が出ず、2007年度の課題となりました。

商品名の前に 「@」 がついている商品は適合品 (13 @ RF-A4P)  
「\*」 がついているのが不適合品 (13 \* F-887-5 黄)



北海道大学生協同組合  
coop UNIV 生協会館店1階  
毎日のご利用ありがとうございます。

2006年 6月14日 (水) 11:45 110101  
NO:01-6794 担:55 カウンター  
半期に1度のハリュエキャンペーン開催!  
人気商品がお手頃価格で・・・!  
期間6/1～6/30

自動車学校入校キャンペーン  
今お申し込みすると5000円もお得!  
期間: 6/19～6/30

13 @RF-A4P	¥330
13 *F-887-5黄	¥320

\*\*\*\*\* 無効レシート \*\*\*\*\*

# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## = 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介（排水の管理） =

### ■ グリストラップ清掃

食堂の規模に応じて年2-4回バキュームでの除去と高圧洗浄、配水管の洗浄を行っていますが、充分であるとは言い難いのが現状です。

※農学部食堂は11月から改装のため休業。  
医学部食堂は4月新装オープン後洗浄契約が漏れており実施しておりませんでした。

●は追加実施 ×は中止													
北大生協		2006年度 グリストラップ等清掃実績											
実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数
●グリストラップ清掃													
北部食堂		○							○			冬期	2
ハルニレ食堂		○							○			冬期	2
中央食堂		○				○			○			冬期	3
工学部食堂		○			○				○			冬期	4
農学部食堂	○				○			×	閉店	×		冬期	2
医学部食堂									●			冬期	1
●配水管清掃													
中央食堂		○				○			○			冬期	3
工学部食堂		○			○			○	○			冬期	4
農学部食堂	○							×				冬期	1
●雑配水槽清掃													
工学部食堂		○						○				冬期	2

### ■ 水質検査の実施

排水の実態を探るため水質検査を実施しました。



食堂排水水質検査報告					
2006	検査項目	N-HEX ノルマル ヘキサン	BOD 生物学的酸 素要求量	SS 浮遊物質	pH
	計量方法	S49年環告 64号-4 抽出重量法	JIS K-0102 21.32.3 隔膜電極法	S49年環告 59号-8 濾過重量法	JIS K-0102 12.1 ガラス電極法
検査日	札幌市基準値→	30mg/L	600mg/L	600mg/L	5~9
9月6日	中央食堂	95.0	660	220	4.8
10月12日	中央食堂	300.0	1,400	510	5.1
9月6日	はるにれ食堂	2.6	18	32	6.8
9月6日	医学部食堂	43.0	560	180	4.1
11月27日	北部食堂	32.0	400	120	6.5

（北部 食堂）ノルマルヘキサン 32mg/Lと基準値を若干オーバー。要観察。

（医学部 食堂）ノルマルヘキサン 43mg/Lと基準値をオーバー。  
※溜まりすぎでオーバーフロー気味だったため。

（工学部 食堂）全て基準値クリア。

（はるにれ食堂）全て基準値クリア。

（中央 食堂）2回の検査で基準値を大幅に超える数字。

※土日営業による稼働率増がグリストラップの許容範囲を超えたことと、配水管損傷（石が出てきた）によりグリスが損傷ヶ所に堆積し、水質検査取水時にそのグリス分が流れ出たものと判明。要、配水管修理。



※ 2007年度は中央店のグリストラップ清掃の回数を増加。水質検査も継続し実施する予定。





# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

## = 2006年度 環境配慮へのとりくみ紹介（放置自転車対策） =

★卒業時に放置してしまう事を防止するために生協が回収する窓口を設けて、放置を未然に防ぐことが目的です。

### ■ 不要自転車引取の開始

<回収ルート>…無償引き取りです。

- ① 卒業予定などで不用になった自転車を生協に持ってきてもらい、所有権を放棄してもらおう。(右の書類)
- ② 大学施設保全課で盗難車以外を6ヶ月間保管し所有権が北大に移ったものを御提供いただく。

<整備など>

フレームが変形・損傷しているものは廃棄。カゴとタイヤは比較的新しいものと交換し、駆動系は整備します。

<問題>不要自転車一時置き場に夜間こっそりと置いていく方がおります。これは手続き上粗大ごみにしかできません。営業時間内にきちんと手続きをして欲しいものです。

・3月は卒業式前後に提供が集中しました。4月も31台と定着しつつあります。

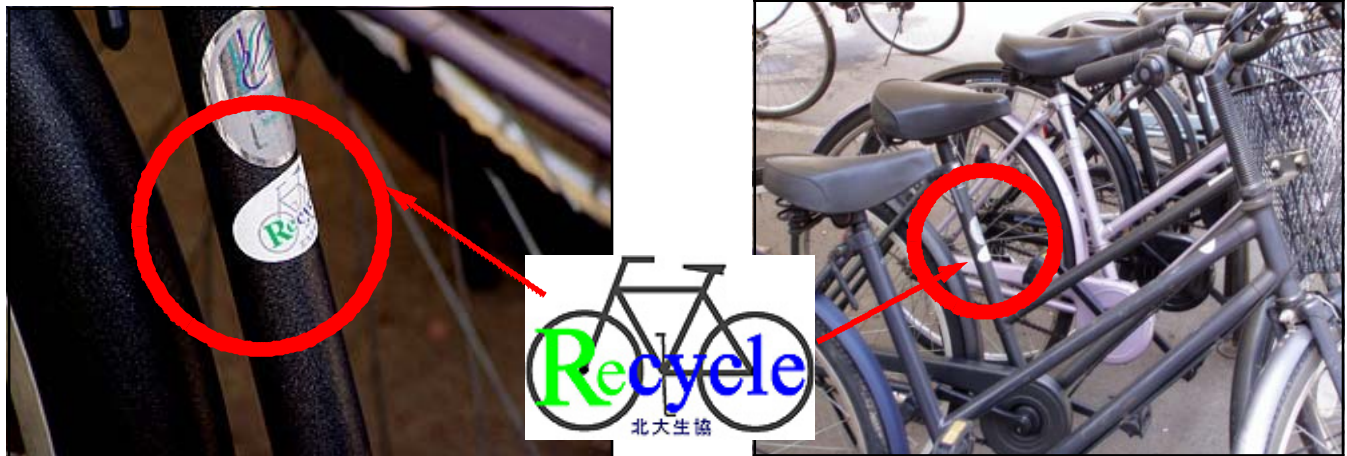
4/末 現在

2006	11	12	1月	2月	3月	4月	Total
店舗	12	10	1	8	55	31	117
施設部	50	11					61
T	62	21	1	8	55	31	178

※店舗で受け付けた117台のうち防犯登録がされていないのは意外と少なく20台でした。

**自転車防犯登録抹消届書**

受付日	
防犯登録番号	
車体番号	
車種・色・メーカー	車種 <input type="text"/> 色 <input type="text"/> メーカー <input type="text"/>
抹消理由	盗難・盗い上げ・焼失・その他( )
登録者名	
住所	
電話番号	
取崩者名	



▲販売した自転車にはこのシールが貼られています。普通の中古自転車と区別しています。最低価格は防犯登録 500 円を付けて¥3,500 で 30 台程度用意しました。





# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介

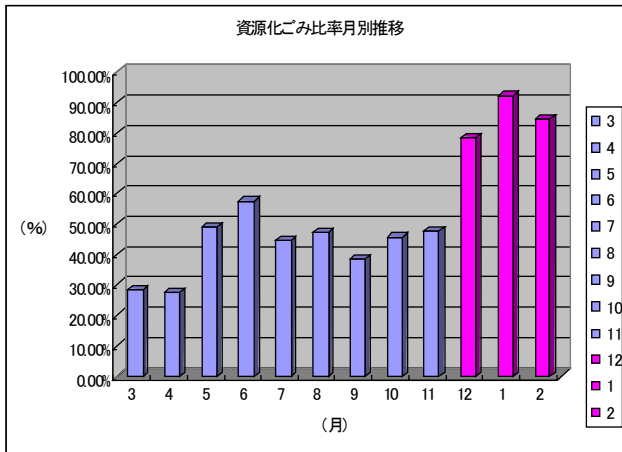
## = 燃えるごみの分別状況 =

### ■ ごみの分別を開始

● 事務所内・店内のゴミ分別収集に向けて、変更点をまとめた「北大生協 ごみ分別マニュアル」を作成。

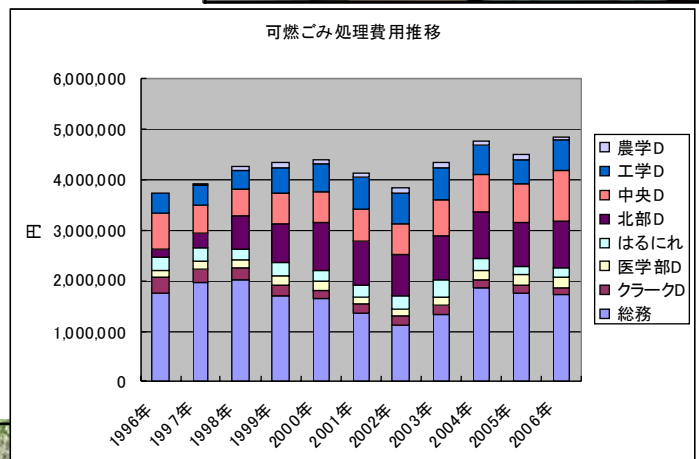
- ・北海道大学と同じ分別区分としました。
- ・燃えるごみを「資源化ごみ」と「一般ごみ」に分別
- ・リサイクルできる紙の分別を徹底
- ・ごみ保管庫の分別保管を徹底  
→資源化ごみの契約（会館・クラーク会館店）で12月から実施し、資源化ごみの比率が30-40%から一気に80-90%へ高まり、処分費の節約にもなりました。

● 2007年度は中央店・工学部店・北部店のごみ庫を更新又は新設し資源化ごみの回収契約を拡大する予定です。



★資源化ごみ 処理費用：¥ 3,750/m<sup>3</sup>  
紙・木質ごみ・廃プラスチック片を粉碎し一定の割合で加熱加圧し固形燃料とする。札幌独自のもの。  
※事業所系のごみからだけ契約により回収される。

●一般ごみ 処理費用：¥ 4,350/m<sup>3</sup>  
資源化ごみ以外の可燃ごみ（布）。生ごみ。



●食堂全体で客数15%伸長の影響で処理するごみの量・費用とも増えています。  
※客数は15%増ですがごみの排出量は8%の増加にとどまっています。



# 2006年度 北大生協 環境配慮へのとりくみ紹介



2006年度の環境目標と実施状況

北海道大学生協同組合

NO	環境方針	環境側面	環境目的	2006年度環境目標 達成目標	取組みの例 (予定を含む)	取組状況	2007年度への課題
3		社会への貢献	地域社会への情報公開	北大生協の環境への取り組みについて公開する	・ホームページでの公開・北大生協2005年度「環境配慮へのとりくみ紹介」を公開	・環境専用ホームページとそこへの誘導で取組を分かりやすく公開しました。 ・北大生協2005年度「環境配慮へのとりくみ紹介」をPDF化して公開しました。	・2006年度報告書を早期にまとめ、2007年度の活動予定も公開します。
			環境活動の継続	大学が構築する環境マネジメント実施体制に継続して参画する	・大学のEMSのサイトとして環境報告を公開	・北海道大学の「環境報告書」に構内事業者として1/2ページ紹介されました。(食堂の排水・グリーン購入推進の援助・ごみナビゲーション・エコツアー) ・第1回北海道大学ステーキホールダーミーティング(北大と関わりのある個人団体が集まる自由討論会)へ出席の要請があり、専務理事が出席しました。	・大学の環境負荷低減のとりくみに積極的に参画し、協力関係をより一層強めます。 ・第2回北海道大学ステーキホールダーミーティングへの出席の要請があれば積極的に参加いたします。
5		環境教育・研究	環境配慮への啓発	全学規模の環境配慮イベントを実施する	・大学祭でのゴミ分別を学生主体に進める ・環境問題へ取り組むキャンペーンの実施	・大学祭でのゴミナビゲーションを継続実施しました。(大学祭実行委員会でもごみの分別回収を実施。共感の輪が広がっています。) ・学生委員会主催の「夏祭り」でもごみの分別回収を実施しました。 ・エコツアーは日程調整がうまくいかず実施できませんでした。 ・エコツアーは「ドイツ環境保全展」をパネルを換えて継続開催しました。 ・教職員委員会によるBDF製造工場及び資源化ごみの固形燃料化工場の視察を実施しました。	・大学祭でのごみナビゲーションを継続実施します。 ・エコツアーの開催を追求します。 ・夏祭りでのごみ分別回収を実施します。 ・きぼうの虹等の機関紙を中心に環境を考える学習活動をとりくみます。
6	省エネルギー		エネルギー消費量を抑える	電気、ガス、石油、カリン使用量の把握事務所内の温度設定を明示	・金額ではなく「量」としての把握・集計 ・夏クールビス：28℃ ・冬ウォームビス：20℃	・「量」としての把握・集計は2006年度分はできました。 ・クールビス、ウォームビスは温度設定の維持管理が困難ことや服装についての考え方の整理ができなかったため取り留めませんでした。	・エネルギー使用量を集計します。 ・過分な冷暖房に注意し、エネルギー消費量を抑える努力をします。
7	省資源		紙・水・包装資材の節約	紙・水・包装資材の節約	・会議資料「両面コピー」の徹底 ・電子情報の活用 ・レジ袋削減の取組	・会議資料については「両面コピー」が実施されているが、印刷機では片面印刷のままがほとんどです。 ※自動両面機能付きはまだ少ないのと、レーザープリンターへの埃・異物混入を懸念し裏紙利用は推奨していません。 ・レジ袋削減の取組は声かけだけに留まっております。	・包装資材(レジ袋など)の減量について組合員討議を準備します。
9	環境負荷の低減	資源の循環利用	廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の発生を抑制、リユース・リサイクルを促進循環型林業への協力	紙類の分別を徹底するとともに、ペットボトル空き缶などの資源化ごみの分別を徹底する道内産割替の利用	・事務所内の紙の分類強化でリサイクルへ (ダンボール/新聞紙・雑誌カタクなど・上質紙) ・紙・雑誌カタクなど・上質紙) ・ビン・缶・ペット分別収集 ・店舗ゴミ箱の点検～再整備 ・下川町FSC森林認証割替の導入	・事務所内の紙の分類を徹底、分別しリサイクル率向上を目指しています。(ダンボール/新聞紙・雑誌カタクなど・上質紙) ・これまで通りビン・缶・ペットの収集とリサイクルを実施しております。 ・会館店前ごみ庫の区分けを整理し分別収集契約を結びました(資源化ごみ) ・下川町FSC森林認証割替を食堂全店に導入し、地産地消森林資源の有効利用に貢献しています。 ・配達弁当取引業者2社へも下川町FSC森林認証割替を導入しました。 ・食堂廃油をBDF製造業者に提供し軽油の代替燃料であるBDF(Bio Diesel Fuel:植物由来燃料のためCO2排出が0換算)として再利用するだけでなく、その分のごみ減量にもつながりました。 ・大学リユース市協議会の活動を援助し卒業生の不要な家電家具をリユースする取組に協力しました。	・中央店、工学部店、北部店にあるごみ庫を新增設し、ごみの分別回収契約を結べる状態にします。(資源化ごみの回収契約) ・学生の環境活動を応援します。
11		グリーン適合製品の優先供給	グリーン適合製品の優先供給で環境への配慮	グリーン適合商品の利用の啓蒙 北海道大学グリーン調達方針に基づくグリーン適合商品の仕入れと供給	・グリーン製品に関する周知 ・グリーン製品の積極的仕入れ ・グリーン非対応商品の入れ替え	・分かり易い店頭表示への切替は取り留めませんでした。 ・新規取扱商品についてグリーン適合商品をメインに仕入の努力をしております。	・グリーン適合商品の購入がしやすくなるように店頭表示を工夫いたします。
13	管理	廃水の管理	廃水の浄化を促進(食堂部門)	グリストラップ清掃の適正な運用と水質検査の実施	・グリストラップの定期清掃実施 ・定期的な水質調査	・グリストラップの定期清掃を実施 ・水質調査を行いました。基準値を大幅に超える結果の店舗が判明しました。 ・水質調査の定期化は費用負担の問題で実施できませんでした。	・グリストラップ定期清掃回数を稼働率に合わせて増やします。 ・水質検査結果で基準値を超える店舗について、清掃の強化と共に水質検査も適時実施し問題点の抽出と対策を試行いたします。
14		放置自転車の存在	放置自転車を削減し、効果的な自転車管理体制を構築	違法駐輪の削減のための管理について大学と検討を開始する	・不要自転車回収～リサイクルの検討～大学への提案	・卒業生、在学生からの不要自転車回収～リサイクルの流れを作ることができました。(3月までに117台回収・07年5月販売:89台完売) ・大学施設部管轄の不要自転車も回収し(61台)リサイクル(47台)するという協力関係を結べました。	・2006年11月から2007年3月回収した不要自転車を整備し、2007年5月の中古自転車販売会で136台完売しました。 ・不要自転車の回収は年間通して行います。 ・放置自転車への対策も大学と協力して取り組みます。

※NO.は、「北海道大学2006年度の活動目標」のNO.に符合しています。